

# 改善計画書

施策番号	局・部	担当課	職名	氏名	電話番号(直通)
18320	市民局 市民活力推進部	男女共同参画課	課長	江成明美	042-769-8205
施策名	女性のエンパワーメントによる社会活動への参画促進				

## 1 施策の目的

男女共同参画社会の実現に向け、女性が自ら力をつけ、その能力を発揮するとともに、自らの意思によって主体的に選択できるよう支援するなど、社会のあらゆる場面への参画を促進する。

## 2 取組み(目的達成するため、課題解決に向けて取り組んだ内容・事業)

- 男女共同参画推進センター(ソレイユさがみ)を中心に様々な事業を実施し、学習の機会や場の提供、個人や団体の育成支援、政策・方針決定過程への参画促進に努めた。
- ソレイユさがみ女性相談事業を通じ自立支援を行った。

## 3 実績値の分析(目標値に対する実績値について、取組み内容の効果・成果を分析する)

ソレイユさがみを運営している女性団体の構成員は問題意識を持ち、積極的に本施策を推進しており、本施策を推進する中核の人材は大勢育っている。しかし、市民全体として考えると、男女共同参画に対する問題意識があまり浸透していないという現実は否定できないため、今後はそれをいかに広めていくかが課題である。そのため、出前講座の実施など、地域に積極的に出て行くことやソレイユさがみの講座をさらに充実させ、参加者から推進者になる人材を増やすことが必要だと考えている。

「審議会等への女性の参画」については、19年度女性委員参画率が前年度比2.5%低下した。これは、新設審議会に女性委員が少なかったこと、女性の公募委員への応募が少なかったことなどが原因として考えられる。目標達成に向け、20年度は最大の人材育成の場であるウィメンズ・カレッジの受講者数を講座構成・広報活動などを工夫して前年度比204.8%増加させ、政策・方針決定過程へ参画する女性人材の裾野を広げた。21年1月現在、ウィメンズ・カレッジ受講生3名が、公募枠から審議会委員として登用された。

「男性が男女共同参画の理念を学ぶ機会の増加」については、19年度ソレイユさがみでの父親の子育て講座が好評だったことから、20年度は有名講師を迎えて若い父親向けの育児講座を開催し、40名近い男性受講者を集めるなど、講座の企画内容を工夫して、着実に男性受講者を集めている。本施策推進のためには、男性の意識改革も重要なことから、より多くの男性受講者を集められるように講座のテーマやターゲットの設定等に更なる研究が必要である。

## 4 平成20年度評価結果(3次評価での指摘事項及び意見)

1次評価	C	2次評価	C	3次評価	C
------	---	------	---	------	---

- ◆市民満足度調査の結果から考えると、女性が本施策に対する重要性が高くないと感じていることが課題ではないのか。分析・検証し、解決策を検討すること。

